

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	公民館備品等整備事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	05	04	01 67
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館			
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進		主管課長	中西 直人			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	施設利用者	意図	施設利用者の利便性を図る。
事業内容	各公民館（中央、北部、東部、初石）及び南流山センターにプロジェクターとスクリーンを設置し、学習環境の整備と利用者の利便性を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	平成27年度に中央・北部・東部・初石公民館、南流山センターにプロジェクターとスクリーンを設置し、施設利用者に利用いただくことで利便性の向上が図られた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	各公民館利用件数の増減率			0.80	%
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト							プロジェクターとスクリーンを設置し、施設利用者に利用いただくことで利便性が図られた。
事務事業の総コスト(a=b+c)		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事業費(b)(円)				1,412,480			
うち一般財源				935,280			
職員給与費(c)(円)				477,200			
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)				0.20			
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	プロジェクターとスクリーンの設置を周知した。	③取組の課題	施設備品の維持管理が課題となる。
②今年度(H27)に実施した取組	各施設の利用者がプロジェクターとスクリーンを利用できた。	④今後の改善計画	使節備品のメンテナンスや改修等について、指定管理者との協議が必要となる。